

資料提供
 令和5年2月7日
 国際交流課 多文化共生G
 外線:225-1381(内3973)

令和4年度外国人住民数集計結果について

本県における令和4年12月末現在の住民基本台帳法による外国人住民数は16,598人で、前年に比べ2,186人の増加となり、過去最多となった。

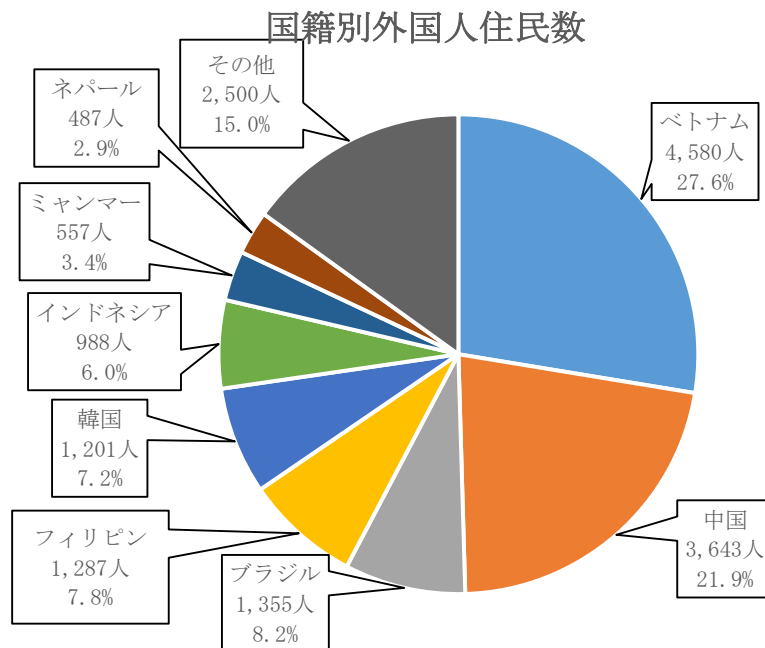
【 国籍・地域別 】

ベトナムが4,580人と最も多く、次いで、中国、ブラジルの順となっている。上位3か国で全体の約58%を占めている。

増減の大きなものは、ベトナムの460人増、インドネシアの370人増となっている。

(単位：人)

	国籍・地域名	令和4年	令和3年	増減
1	ベトナム	4,580	4,120	460
2	中国	3,643	3,511	132
3	ブラジル	1,355	1,283	72
4	フィリピン	1,287	1,006	281
5	韓国	1,201	1,228	▲ 27
6	インドネシア	988	618	370
7	ミャンマー	557	398	159
8	ネパール	487	231	256
	その他	2,500	2,017	483
	合計	16,598	14,412	2,186



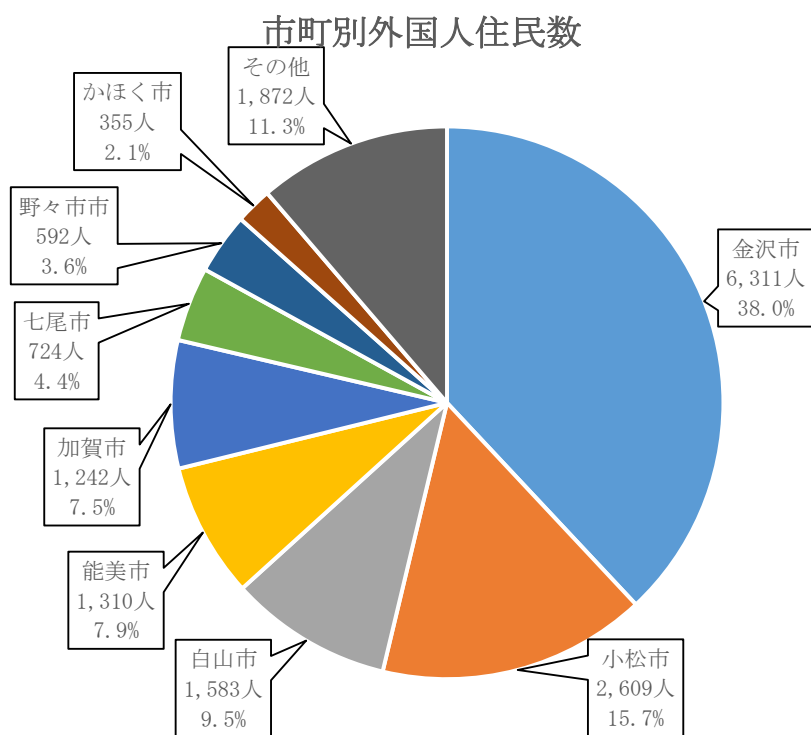
【市町別】

金沢市が6,311人と最も多く、次いで、小松市、白山市の順となっている。上位3市で全体の約63%を占めている。

増減の大きなものは、金沢市の1,075人増、小松市の305人増となっている。

(単位：人)

	市町名	令和4年	令和3年	増減
1	金沢市	6,311	5,236	1,075
2	小松市	2,609	2,304	305
3	白山市	1,583	1,448	135
4	能美市	1,310	1,202	108
5	加賀市	1,242	1,036	206
6	七尾市	724	639	85
7	野々市市	592	547	45
8	かほく市	355	328	27
	その他	1,872	1,672	200
	合計	16,598	14,412	2,186



【 在留資格別 】

「技能実習」が4,139人で最も多く、次いで、「永住者」、「留学」の順となっている。上位3資格で全体の約57%を占めている。

増減の大きなものは、「特定技能」の909人増、「留学」の798人増となっている。

(単位：人)

	在留資格名	令和4年	令和3年	増減
1	技能実習	4,139	3,775	364
2	永住者	3,186	3,078	108
3	留学	2,103	1,305	798
4	特定技能	1,445	536	909
5	技術・人文知識・国際業務	1,124	914	210
6	特別永住者	1,067	1,096	▲ 29
7	定住者	888	768	120
8	家族滞在	799	664	135
	その他	1,847	2,276	▲ 429
	合計	16,598	14,412	2,186

在留資格別外国人住民数

